

ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護 ①

呼吸器

電子版あり



●B5判 320頁 カラー 定価2,640円(本体2,400円+税10%) ISBN978-4-8404-6897-8 第1版 2020年1月

本書の内容

- COPD、呼吸不全、肺癌、気管支喘息など、呼吸器疾患とそれぞれの疾患に特徴的な看護をていねいに解説しました。
- 酸素化障害や換気障害など、イメージしにくい呼吸器の構造と機能、病態を豊富なビジュアルでわかりやすく図解しています。
- 臨床で重要性が高まっている呼吸リハビリテーションを大きく取り上げました。多職種による包括的呼吸リハビリテーション、アドバンス・ケア・プランニングなど、重要な視点を学ぶことができます。

編集

讀井 將満	自治医科大学総合医学第2講座主任教授／附属さいたま医療センター副センター長、集中治療部部長	宇都宮明美	関西医科大学看護学部看護学研究科治療看護分野教授
		加茂 徹郎	東京都立墨東病院集中治療科医長
		本城 綾子	大阪刀根山医療センター看護部長室副看護師長、慢性疾患看護専門看護師

執筆 (掲載順)

加茂 徹郎	東京都立墨東病院集中治療科医長<2章1~11節, 8章1・2節>	森 菊子	兵庫県立大学看護学部教授<7章1節>
中西 美貴	大阪大学医学部附属病院看護部、呼吸器疾患看護認定看護師<2章2~5節>	今戸美奈子	高槻赤十字病院看護部慢性疾患看護専門看護師<7章2節>
渡部 妙子	大阪はびきの医療センター慢性呼吸器疾患看護認定看護師<2章10節, 4章1節>	本城 綾子	大阪刀根山医療センター看護部長室副看護師長、慢性疾患看護専門看護師<7章3節, 9章6節>
馬場 里英	済生会宇都宮病院呼吸器内科<3章1~4・13節, 11章1~3節>	藤井 利江	兵庫医科大学病院看護部看護師長、慢性疾患看護専門看護師<8章1節>
千代谷 厚	医療法人社団たかはら会尾形医院内科<3章5~8節, 13章2~4節>	牧野 晃子	聖路加国際大学大学院看護学研究科助教<8章2節>
富保 紗希	慶應義塾大学病院呼吸器内科<3章9節, 9章1~6節>	河田 照絵	日本赤十字看護大学看護学部准教授<9章3節>
嶋 龍太郎	済生会宇都宮病院呼吸器外科<3章10・12節>	荒井 大輔	済生会宇都宮病院呼吸器内科医長<10章1~4節>
明神 哲也	東京医療学院大学保健医療学部看護学准教授<3章10~12節>	徳岡 良恵	大阪公立大学大学院看護学研究科講師<10章2・3節>
中間 楽平	国立がん研究センター中央東病院放射線診断科<3章11節, 13章1節>	関田 恵	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター副看護部長兼看護師長<11章1節>
八塩 章弘	市立大津市民病院救急診療科医長<4章1~3節>	仲地 一郎	済生会宇都宮病院呼吸器内科主任診療科長<12章1~6節>
宇都宮明美	関西医科大学看護学部看護学研究科治療看護分野教授<4章2節>	後藤 順一	河北総合病院急性・重症患者看護専門看護師<12章2節>
		西村裕美子	兵庫医科大学病院看護部がんセンター看護師長、がん看護専門看護師<12章3節>
鬼塚真紀子	大阪はびきの医療センター呼吸器内科病棟主任、慢性呼吸器疾患看護認定看護師<4章2節, 5章3節>	大江 理英	兵庫県立大学看護学部実践基礎看護講座看護病態学准教授<12章4~6節>
大方 葉子	慢性呼吸器疾患看護認定看護師<4章3節>	比田井理恵	千葉県総合救急災害医療センター、急性・重症患者看護専門看護師<13章1節>
古川 拓	The Florey Institute of Neuroscience and Mental Health, The University of Melbourne<4章4~6節>	辻 守栄	千葉県総合救急災害医療センター看護局、ICU急性・重症患者看護専門看護師<13章1節>
井上 智子	京都大学医学部附属病院HCU、集中ケア認定看護師<4章4節>	木田 朋子	淀川キリスト教病院看護課長、慢性呼吸器疾患看護認定看護師<13章2・3節>
松山 晶子	京都大学医学部附属病院看護部管理室看護師長特定行為研修修了者(術中麻酔管理領域)、周術期管理チーム看護師<4章5節>	笠井 史人	昭和大学病院リハビリテーションセンター長、昭和大学医学部リハビリテーション医学講座教授<14章1節>
小湊 照代	京都大学医学部附属病院看護部南病棟3階看護師長<4章6節>	神津 玲	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科理学療法学分野教授<14章2節1項>
近藤 悠生	東京ベイ浦安市川医療センター救急集中治療科(集中治療部門)スタッフ<5章1~3節>	岡垣 雅美	京都府立医科大学附属病院医療技術部栄養課栄養士長<14章2節2項>
卯野木 健	札幌市立大学看護学部教授<5章2節>	毛利 貴子	京都府立医科大学大学院保健看護学研究科教授<14章3節>
千葉 圭彦	自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科臨床助教<6章1~3節>	金子 美子	京都府立医科大学大学院医学研究科呼吸器内科学・教育センター講師<14章4節>
齋藤 大輔	公立学校共済組合関東中央病院看護部、急性・重症患者看護専門看護師/副看護師長<6章1節>	淵本 雅昭	東邦大学医療センター大森病院救命救急センター看護師長、急性・重症患者看護専門看護師<14章5節>
櫻本 秀明	日本赤十字九州国際看護大学看護学部看護学科成人看護学急性期領域教授<6章2節>	山岡 綾子	兵庫医科大学病院看護部看護師長、急性・重症患者看護専門看護師<15章>
小林 千穂	新潟勤労者医療協会下越病院看護部看護師長、慢性呼吸器疾患看護認定看護師/慢性疾患看護専門看護師<6章3節, 9章2・4節>	竹川 幸恵	大阪はびきの医療センター呼吸ケアセンター副センター長、慢性疾患看護専門看護師<16章>
岡田 真彦	北里大学北里研究所病院呼吸器内科医員<7章1~3節>		

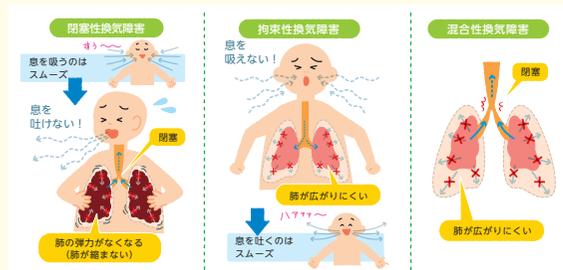
授業計画案あり

動画 14本収録

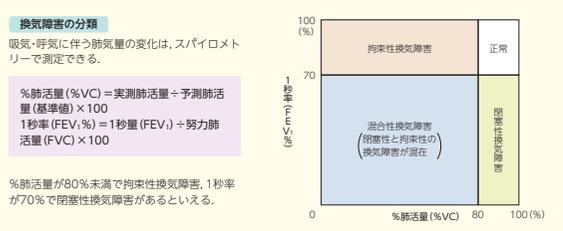
7 換気障害

呼吸器をイメージしながら学べる

換気障害とは
 拡散による細胞壁を介したガス交換が障害され、二酸化炭素をうまく体外に排出できなくなり、酸素を体内に取り込めなくなる(空気の吸入・呼出が妨げられる)病態。



- 慢性閉塞性肺疾患(COPD)
- びまん性汎細気管支炎
- リンパ脈管腫瘍(LAM) など
- 肺線維症
- 間質性肺炎
- 無気胸 など



130

目次

第1部 呼吸器疾患を学ぶための基礎知識

第1章 ●呼吸器の構造と機能
呼吸器の全体像/気管・気管支の構造と機能/肺の構造と機能/胸膜/縦隔/胸郭の構造と機能/呼吸に必要な筋肉の構造と機能/呼吸の生理

第2章 ●呼吸器の異常でみられる症候と看護
呼吸様式の異常/呼吸困難(息切れ)/胸痛/咳嗽(咳)/咯痰(痰)/咯血/血痰/喘鳴/副雑音/チアノーゼ/ばち指/CO₂ナルコシス/胸水

第3章 ●呼吸器科で行われる検査と看護
呼吸器科で行われる主な検査/肺機能検査(呼吸機能検査、スパイロメトリー)/ピークフロー値測定/酸素飽和度検査/喀痰検査/胸部単純X線検査/胸部CT検査/肺シンチグラフィ/動脈血ガス分析/胸水穿刺/経皮的肺生検/気管支鏡検査/睡眠時呼吸モニタリング(ポリソムノグラフィ/簡易検査)

第4章 ●呼吸器疾患の主な治療・処置と看護
酸素療法/人工呼吸療法/薬物療法/胸腔ドレナージ/手術療法/肺移植

第2部 呼吸器の疾患と看護

第5章 ●呼吸不全
呼吸不全/急性呼吸不全/慢性呼吸不全

第6章 ●酸素化障害
肺水腫/急性呼吸窮迫症候群(ARDS)/無気胸

第7章 ●換気障害
慢性閉塞性肺疾患(COPD)/間質性肺疾患/放射線肺炎/薬剤性肺炎/膠原病による間質性肺炎などの合併/特発性間質性肺炎(IIP)/睡眠時無呼吸症候群(SAS)

第8章 ●肺循環障害
肺高血圧症(PH)/肺血栓塞栓症(PTE)

第9章 ●呼吸器感染症
かぜ症候群(急性上気道感染症)/インフルエンザ/細菌性肺炎/肺炎/市中肺炎(CAP)/院内肺炎(HAP)/医療・介護関連肺炎(NHCAP)/ウイルス性肺炎/肺真菌症/抗酸菌症/肺結核/非結核性抗酸菌症(NTM)

第10章 ●肺癌
肺癌/小細胞肺癌/非小細胞肺癌/転移性肺腫瘍

第11章 ●免疫・アレルギー性肺疾患
気管支喘息/好酸球性肺炎/過敏性肺炎

第12章 ●胸膜・縦隔疾患
胸膜炎/気胸/血胸/胸膜中皮腫/縦隔腫瘍/縦隔気腫/胸腺腫/胸腺癌

第13章 ●その他の肺疾患
胸部外傷/じん肺/珪肺/石綿肺/気管支拡張症/サルコイドーシス

第3部 呼吸リハビリテーション

第14章 ●呼吸リハビリテーションと患者支援
呼吸リハビリテーション/実践プログラム/患者教育/禁煙指導/アドバンス・ケア・プランニング(ACP)

第4部 事例で学ぶ呼吸器疾患患者の看護

第15章 ●肺切除術を受ける患者の看護
アセスメントの視点/看護目標/看護計画/看護の評価/事例を振り返って/設問

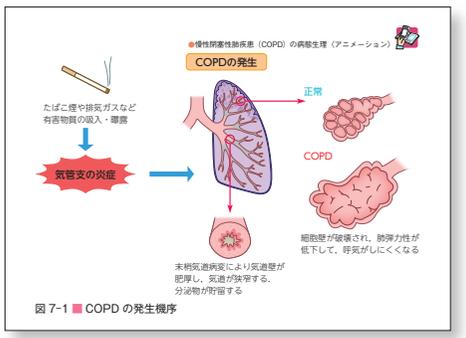
第16章 ●COPD患者の急性増悪から在宅療養に向けた看護
アセスメントの視点/急性期における患者の問題/看護目標/看護計画/急性期の看護の実際と評価/回復期における患者の問題/看護目標/看護計画/在宅への移行に向けた看護の実際と評価/事例を振り返って/設問

14 呼吸リハビリテーションと患者支援

1 呼吸リハビリテーション

呼吸リハビリテーションとは
 呼吸リハビリテーションとは、病気や外傷によって呼吸器に障害が生じた患者に対して、可能な限り機能を回復、あるいは維持することで、症状を改善し、患者が自立した日常生活を送れるように継続的に支援する医療である。「呼吸リハビリテーションに関するターゲット」によると、呼吸リハビリテーションは、「呼吸器に関連した病気を有する患者が、可能な限り疾患の進行を予防あるいは健康状態を回復・維持するため、医療者と協働的なパートナーシップのもとに疾患を自身で管理して、自立できるよう生活にわたり継続して支援していくための個別化された包括的介入である」と定義されている。

呼吸リハビリテーションを丁寧に解説



p.131

循環器



電子版あり

●B5判 360頁 カラー 定価2,970円(本体2,700円+税10%) ISBN978-4-8404-6898-5 第1版 2020年1月

本書の内容

- 人間が生命活動を行う上で重要な循環器が障害されると、どのような機能障害、あるいは疾患として現れるのか、わかりやすい図や文章でていねいに解説しています。
- 豊富な写真、美しいビジュアルで循環器の症候や検査、治療、疾患についての学びを深めることができます。
- 若年からはじめる一次予防、病院から在宅への移行など、今後、日本で求められる循環器看護について学ぶことができます。

編集

野原 隆司	国家公務員共済組合連合会方公済病院顧問、医療法人新生会総合病院高の原中央病院名誉院長	三浦 英恵	日本赤十字看護大学看護学部教授
岡田 彩子	東京情報大学看護学部看護学科教授	山内 英樹	東京情報大学看護学部看護学科教授

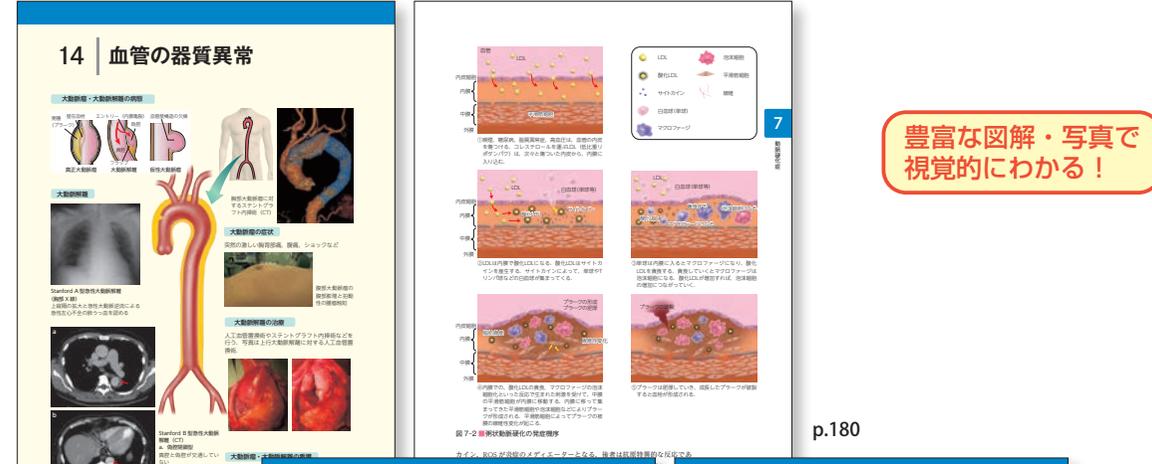
執筆(掲載順)

猪又 孝元	新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学主任教授 <2章1~8節>	佐藤 智英	済生会熊本病院循環器内科主任医員<6章1・2節>
岡田 彩子	東京情報大学看護学部看護学科教授 <2章1・2・6節, 6章1・2節, 7章1節, 18章>	刈尾 七臣	自治医科大学内科学講座循環器内科学部門教授<6章1・2節>
若林 留美	東京女子医科大学病院看護部慢性心不全看護認定看護師 <2章3~5・7節>	大村 寛敏	順天堂大学医学部内科学教室循環器内科学講座非常勤講師 <7章1節>
山口亜希子	滋賀医科大学臨床看護学講座成人看護学准教授<2章8節>	磯田 菊生	順天堂大学医学部附属練馬病院循環器内科先任准教授 <8章1・2節>
伊澤 淳	信州大学医学部保健学科教授<3章1~5節>	濱上亜希子	兵庫県立大学看護学部講師<8章1・2節>
仲村 直子	神戸市立医療センター中央市民病院慢性疾患看護専門看護師 <3章1・3~11節>	堀江 稔	滋賀医科大学循環器内科名誉教授<9章1・2節>
平 千明	信州大学医学部保健学科助教<3章3・4節>	谷川 悦子	兵庫県立尼崎総合医療センター初療/急性・重症患者看護専門 看護師<9章1・2節>
南澤 匡俊	信州大学医学部循環器内科学教室助教<3章6・10節>	赤石 誠	ウェルエイジング日本橋クリニック院長/慶應義塾大学医学部 客員教授、東海大学医学部客員教授<10章1節1~6項>
三浦 崇	みうらハートクリニック院長<3章7・8節>	津田 泰伸	聖マリアンナ医科大学病院看護部、TQM室/ 急性・重症患者看護専門看護師<10章1節7項>
千田 啓介	慈恵会相澤病院循環器内科医長<3章9・11節>	三宅 誠	天理よろづ相談所病院先天性心疾患センター副部長 <11章1・2節>
赤尾 昌治	独立行政法人国立病院機構京都医療センター診療部長/循環器 内科科長<4章1節1~7項>	水野 芳子	東京情報大学看護学部教授/小児看護専門看護師<11章1・2節>
井口 守丈	独立行政法人国立病院機構京都医療センター心臓リハビリテー ション科医長<4章1節1~7項>	網岡 尚史	岡山大学病院循環器内科医員<12章1~3節>
北村 幸恵	順天堂大学医療看護学部助教/慢性疾患看護専門看護師 <4章1節8項・2節>	小泉 雅子	東京女子医科大学大学院看護学研究科准教授/ 急性・重症患者看護専門看護師<12章1~3節>
阿部 充	独立行政法人国立病院機構京都医療センター心血管カテーテル 治療科科長<4章2節1項>	西田 耕太	立川総合病院循環器内科医長<13章1・2節>
益永 信豊	独立行政法人国立病院機構京都医療センター循環器内科医長 <4章2節2項>	大北沙由利	関西医科大学総合医療センター看護部管理部長/集中ケア認定 看護師<13章1・2節>
安 珍守	大阪府済生会野江病院循環器内科副部長<4章2節3項>	大島 一太	大島医院院長/東京医科大学八王子医療センター循環器内科兼 任講師<14章1・2節>
白神幸太郎	独立行政法人国立病院機構京都医療センター副院長/心臓外科 科長<4章3節>	山科 章	みやびハート&ケアクリニック名誉院長/東京医科大学名誉教授 <14章1・2節>
浅川 翔子	東京慈恵会医科大学医学部看護学科成人看護学講師<4章3節>	三浦 英恵	日本赤十字看護大学看護学部教授<14章1節, 15章コラム>
石井 充	独立行政法人国立病院機構京都医療センター循環器内科内医長 <4章4節>	溝部 昌子	西南女学院大学保健福祉学部看護学科教授<14章2節>
山内 英樹	東邦大学看護学部看護学科講師<4章4節>	池永 寛樹	広島大学大学院医科学部研究科循環器内科学助教/診療講師 <15章1・2節>
小川 尚	米盛病院循環器内科<4章5節>	和田美也子	湘南鎌倉医療大学看護学部准教授<15章1・2節>
齋藤 大輔	公立学校共済組合関東中央病院看護部副看護師長/急性・重症 患者看護専門看護師<4章5・6節>	牛尾 裕子	山口大学大学院医学系研究科教授<16章>
中島 康代	独立行政法人国立病院機構京都医療センター総合リハビリテー ション科医長<4章6節>	田野 晴子	武庫川女子大学看護学部助教<16章1項>
宇都宮裕人	広島大学大学院医科学部研究科循環器内科学診療講師 <5章1・2節>	重松美智子	三菱ケミカルグループ人事部Japan人事部健康支援グループ 保健師<16章2項>
守谷 千明	日本赤十字看護大学助教/集中ケア認定看護師/急性・重症患 者看護専門看護師<5章1・2節>	辻井 由紀	なないろ訪問看護ステーション/慢性心不全看護認定看護師 <17章>
		齋藤 奈美	目白大学看護学部看護学科助教<18章>

授業計画案あり

動画
3本
収録

豊富な図解・写真で
視覚的にわかる!



目次

第1部 循環器疾患を学ぶための基礎知識

第1章 ●循環器の構造と機能
心臓の構造と機能/血管と循環

第2章 ●循環器機能の異常とそこから引き起こされる症候と看護
血圧異常/痛み/動悸/呼吸困難/浮腫/チアノーゼ/めまい/失神/ショック

第3章 ●循環器系の検査と看護
循環器系の診断・看護アセスメント(概論)/視診・聴診・触診/血圧測定・動脈硬化の検査/心電図・心肺運動負荷試験/胸部X線検査/心エコー法・経食道心エコー法/心臓カテーテル検査/血行動態モニタリング/冠動脈CT検査/MRI検査・MRA検査/心臓核医学検査(心筋シンチグラフィ)

第4章 ●循環器疾患の主な治療・処置と看護
薬物療法/カテーテル治療/開心術/補助循環療法/植込み型心臓デバイス/心臓リハビリテーション

第2部 循環器の疾患と看護

第5章 ●心不全
心不全/節心性

第6章 ●血圧異常
高血圧症/低血圧症

第7章 ●アテローム性動脈硬化症
アテローム性動脈硬化症

第8章 ●冠血流障害 (虚血性心疾患)
狭心症/急性冠症候群(ACS)

第9章 ●刺激伝導系の障害
徐脈性不整脈/頻脈性不整脈

第10章 ●弁機能の障害
弁膜症

第11章 ●先天性の心臓の形態異常
先天性心疾患/成人先天性心疾患

第12章 ●心筋障害
心筋症/心筋炎/心臓腫瘍

第13章 ●心臓の異常 (心膜炎)
心膜炎/心タンポナーデ

第14章 ●血管の器質異常
動脈系/静脈系

第15章 ●循環器以外の原疾患による循環器系の障害および心不全
癌性リンパ管症/リンパ浮腫/上大静脈症候群/心毒性の薬物による心不全

第3部 事例で学ぶ循環器疾患患者の看護

第16章 ●生活習慣病一次予防のポピュレーションアプローチ

第17章 ●慢性心不全による入退院を繰り返す患者の看護

第18章 ●心不全で最期を家で迎える患者の看護

消化器

電子版あり

●B5判 400頁 カラー 定価3,190円(本体2,900円+税10%) ISBN978-4-8404-6899-2 第1版 2020年1月

本書の内容

- 人体の成長や生活力を支える消化器系全般について、医学と看護の両面から、かならず知っておきたい基礎知識をていねいに解説しています。
- 近年、発展が目覚ましい内視鏡など、検査・治療とその看護も、豊富な画像と共に詳しく記載しています。
- 臨床実習を想定した事例をとりあげており、臨床のイメージができ、実習に役立ちます。

編集

三原 弘	札幌医科大学医療人育成センター准教授(医学部総合診療医学講座・兼任)	稲森 正彦	横浜市立大学医学部医学科医学教育学主任教授
土肥 直樹	相模原市国民健康保険内郷診療所所長	明石 恵子	名古屋大学大学院看護学研究科教授
		佐藤 正美	東京慈恵会医科大学医学部看護学教授

執筆(掲載順)

北 啓一郎	富山大学附属病院総合診療科診療教授・副部長<2章1~9節>	鈴木 秀和	東海大学病院本部部長補佐・東海大学医学部内科学系消化器内科学教授<7章1・2・5節>
中神 克之	名古屋女子大学健康科学部看護学教授<2章1~13節, 13章>	松崎潤太郎	慶應義塾大学薬学部准教授<7章2節>
小黒 邦彦	自治医科大学内科学講座消化器内科学部門病院助教<2章10~16節>	森 英毅	慶應義塾大学内科学教室(消化器)専任講師<7章1・5節>
		安藤 孝将	富山大学医学部第三内科学講師<7章3・4節>
中神 友子	人間環境大学看護学部看護学准教授<2章14~16節, 9章>	三原 弘	札幌医科大学医療人育成センター准教授(医学部総合診療医学講座・兼任)<8章1~3・10節, 12章>
稲森 正彦	横浜市立大学医学部医学科医学教育学主任教授<3章1~3節, 8章13節>	永野みどり	東京慈恵会医科大学医学部看護学教授<8章1~6節, 7節1項・8~11節>
望月 留加	東京慈恵会医科大学医学部看護学准教授<3章2~14節, 5章>	楠 裕明	淳風会健康管理センター倉敷副センター長<8章4・5・8・9節>
佐藤 幸浩	かみいち総合病院院長<3章4~9節>	本多 啓介	淳風会健康管理センター<8章6・7節>
松村 和宜	滋賀県立総合病院消化器内科部長<3章10~14節>	佐藤 正美	東京慈恵会医科大学医学部看護学教授<8章7節2項・12・13節>
土肥 直樹	相模原市国民健康保険内郷診療所所長<4章1~3節, 12章3節>	岩田 悠里	横浜市立大学医学部消化器内科学教室<8章11・12節>
牟田理恵子	信州大学学術研究院保健学系准教授<4章2節>	室岡 陽子	武蔵野大学看護学部看護学成人看護学准教授<8章14節, 14章>
小川 薫	相模原市国民健康保険内郷診療所主任看護師<4章2節study>	田尻 和人	富山大学医学部第三内科学准教授<9章1節>
益田美津美	聖徳大学看護学部教授<4章3・4節, 10章, 11章>	相磯 光彦	独立行政法人国立病院機構東埼玉病院統括診療部内科系第2診療部長<9章2~5節>
藤浪 斗	富山大学附属病院光学医療診療部准教授<4章4節>	辻 喜久	札幌医科大学総合診療医学講座教授, 滋賀医科大学附属病院総合診療医学講座特任教授<11章>
飯田 洋	横浜市立大学医学部医学教育学講師<4章5節>	福田美和子	目白大学看護学部看護学教授<12章>
樫野 香苗	名古屋大学大学院看護学研究科教授<4章5~7節>	原沢 優子	豊橋創造大学保健医療学部看護学教授<15章>
梶浦 新也	富山大学附属病院臨床腫瘍部副部長<4章6節, 10章>	入江 佳子	虎の門病院看護部がん看護専門看護師<16章>
梶島加代子	長崎大学病院医療教育開発センター教授<4章7節>		
光藤 健司	横浜市立大学大学院医学研究科顔面口腔機能制御学主任教授<5章1節1~3項>		
折館 伸彦	横浜市立大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学主任教授<5章1節4項・2節>		
栗林 志行	群馬大学大学院医学系研究科消化器・肝臓内科学病院講師<6章>		
中村 美鈴	名古屋大学大学院看護学研究科教授<6章, 7章>		

目次

第1部 消化器疾患を学ぶための基礎知識

第1章 消化器の構造と機能

消化器系のはたらき/口腔・頭頸部の構造と機能/食道の構造と機能/胃・十二指腸の構造と機能/小腸・大腸・肛門の構造と機能/肝臓の構造と機能/胆道系の構造と機能/膵臓の構造と機能/消化器系の血管・リンパ系

第2章 消化器の異常でみられる症候と看護

食欲不振/過食・拒食/摂食・嚥下機能障害/悪心・嘔吐/胸やけ/吐血・下血/腹痛/腹部膨満/黄疸/下痢/便秘/排便困難/便失禁/倦怠感/腹水/肝性脳症

第3章 消化器の検査と看護

消化器の主な検査/血液検査/便検査/肝生検/腹腔穿刺/腹部単純X線検査/消化管X線造影検査/腹部血管造影検査/胆嚢・胆管・膵管造影検査/CT検査/MRI検査/核医学検査/内視鏡検査/腹部超音波検査

第4章 消化器疾患の主な治療・処置と看護

消化器疾患で行われる主な治療・処置/開腹術/ドレナージ/内視鏡手術/薬物療法

/放射線療法/食事・栄養療法

第2部 消化器の疾患と看護

第5章 口腔・歯科・頭頸部の疾患

口腔内の疾患/頭頸部癌

第6章 食道の疾患

食道癌/胃食道逆流症/食道・胃静脈瘤/食道アカラシア

第7章 胃・十二指腸疾患

胃炎/胃・十二指腸潰瘍/胃ポリープ/胃癌/機能性ディスペプシア

第8章 小腸・大腸・肛門疾患

潰瘍性大腸炎/クローン病/腸結核/虚血性大腸炎/薬剤性大腸炎/大腸ポリープ・大腸ポリポーシス/大腸癌/大腸憩室症/過敏性腸症候群/機械的腸閉塞、イレウス、その他/虫垂炎/直腸脱/肛門疾患/特論: ストーマ造設術と看護

第9章 肝臓の疾患

授業計画案あり

動画
8本
収録



8 小腸・大腸・肛門疾患

潰瘍性大腸炎 大腸の粘膜に炎症が生じ、びらんや潰瘍を形成する**非特異性炎症性腸疾患**

クローン病 免疫異常などの関与が考えられる**肉芽腫性炎症疾患**

腸結核 ヒト型結核菌が腸に感染する腸管感染症

大腸憩室症 大腸の管腔内圧が上昇し、大腸壁が圧迫されて外方に突出する

虚血性大腸炎 大腸の過剰な収縮で大腸を栄養する血管に血流異常が生じ、大腸粘膜に腫れやびらん、潰瘍が発生する

過敏性腸症候群 形態的(顕微鏡)な異常がないにもかかわらず、慢性的に下痢や便秘などの便通異常と腹痛や膨満感、腹部不快感などの腹部症状を引き起こす病態の総称

虫垂炎 感染により虫垂が炎症を起こした状態

直腸脱 肛門から**直腸(全部)**が脱出する(肛門括約筋)

脱肛 肛門や**直腸粘膜**が肛門外に脱出する(肛門括約筋)

裂孔 歯状線より肛門側に傷がついて肛門上皮が裂けたり、痔核が脱出することで周囲の粘膜が引っ張られて起こる

図解で病態と疾患のポイントを整理!

手術の詳細もわかる

図 11-5 内視鏡的腸管拡張術

内視鏡 腸管の狭い部分 ガイドワイヤー 狭い腸管を広げる

十二指腸 内圧が上昇して太くなった腸管 腸管ステント 腸液の流れが良好になる

図 11-6 内視鏡的碎石除去術

内視鏡 体外衝撃波 結石破砕術 細かく砕かれた碎石

十二指腸 腸管 碎石除去のためのバスケットカテーテル

豊富な画像やイラストで理解が深まる!

図 3-20 腸鏡後プロブによる超音波内視鏡検査

図 8-25 大腸憩室の合併症

図 8-26 腸管出血の治療

p.115

p.257

肝炎/脂肪肝/肝硬変/肝不全/肝癌

第10章 胆道系の疾患

胆石症/胆管炎/胆嚢炎/胆道癌/その他の疾患

第11章 膵臓の疾患

膵炎/膵癌

第12章 腹膜・腹壁・横隔膜の疾患

腹膜炎/ヘルニア/腹部外傷/急性腹症

第3部 事例で学ぶ消化器疾患患者の看護

第13章 幽門側胃切除を受ける胃癌患者の看護

第14章 急性腹症で緊急入院した大腸癌患者の看護

第15章 嚥下障害のある食道癌術後の高齢者の看護

第16章 潰瘍性大腸炎の患者の看護

血液／アレルギー・膠原病／感染症

電子版あり

●B5判 480頁 カラー 定価4,180円(本体3,800円+税10%) ISBN978-4-8404-6900-5 第1版 2020年1月



本書の内容

- 病気の成り立ちにおいて共通する部分の多い血液疾患、免疫疾患、感染症を一冊に集約しました。幅広い分野・多数の疾患を関連づけて理解することができます。
- 豊富な図解で、理解するのが難しい免疫機構とその異常(免疫不全状態や自己免疫疾患、感染症)についてわかりやすく解説しています。
- 具体的な事例展開で、実臨床や実習に向けたシミュレーションがしやすい。さらに国試の状況設定問題の対策としても活用できます。

編集

編集 藤 隆文 名古屋市立大学名誉教授／蒲郡市民病院麻酔科／蒲郡市立ソフィア看護専門学校参与 矢野 久子 名古屋市立大学大学院看護学研究所感染予防看護学教授

執筆(掲載順)

- 藤 隆文 名古屋市立大学名誉教授／蒲郡市民病院麻酔科／蒲郡市立ソフィア看護専門学校参与<2章序, 6章3節, 11章1・2節, 12章2節, 13章1節, 14章, 21章1節, 22章8節>
- 伊藤 旭 並木会並木病院<2章, 3章>
- 福井 幸子 青森県立保健大学健康科学部看護学助教授 <2章, 3章1~3節, 5章1・2節, 6章1~3節, 7章1節, 8章>
- 浅野 有彩 名古屋市立大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学病院助教 <4章>
- 菅野かおり 公益社団法人日本看護協会神戸研修センターがん薬物療法認定看護師教育課程主任教員<4章1~5節>
- 金森 貴之 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター血液腫瘍内科学助教<5章, 6章1・2・4~8節>
- 立田 卓登 弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座助教 <7章, 8章>
- 吉川 寛美 名古屋市立大学大学院看護学研究所感染予防看護学講師<9章>
- 前田ひとみ 熊本大学大学院生命科学研究部看護学分野教授 <11章2節, 13章1節>
- 佐久間英輔 元 名古屋市立大学大学院医学研究科総合解剖学講師 <11章3・4節, 12章1・3節, 13章2節, 15章>
- 脇本 寛子 名古屋市立大学大学院看護学研究科性生殖看護学・助産学教授 <11章3・4節, 12章1・3節, 13章2節, 15章, 19章1節, 22章7・11節>
- 安岡 砂織 名古屋市立大学大学院看護学研究所感染予防看護学准教授 <14章1・2節, 20章5節(Study), 22章1・3節>
- 板津 良 愛知医科大学看護学部基礎看護学助教 <14章3~7節, 22章2節>
- 新改 法子 青森県立保健大学健康科学部看護学准教授／感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師 <16章, 23章1~3・5・6・9・10節(Column)>
- 住田千鶴子 稲沢市民病院看護局看護局長認定看護管理者・感染管理認定看護師<17章, 18章1節, 24章>
- 矢野 邦夫 浜松市感染症対策調整監／浜松医療センター感染症管理特別顧問 <18章, 20章, 21章2~6節, 22章5~7・9・10節, 23章5~10節>
- 吉田 敦 東京都健康長寿医療センター感染症内科／東京女子医科大学感染症科<19章1~6節, 21章7~11節, 23章1~4節>
- 畑 七奈子 名古屋市立大学病院診療技術部臨床検査技術科血液検査係係長 <19章7節>
- 青山 恵美 愛知医科大学看護学部感染看護学准教授・感染管理認定看護師 <20章1節, 21章10節, 22章4・9節>
- 矢野 久子 名古屋市立大学大学院看護学研究所感染予防看護学教授 <21章1節, 22章8節>
- 村端真由美 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻准教授 <21章2・3節, 22章5・6節>
- 金子 典代 名古屋市立大学大学院看護学研究所国際保健看護学教授 <21章7節>
- 高橋 孝 北里大学大学院感染制御科学府感染症学研究室教授 <22章1~4・11節>
- 高久 道子 岐阜保健大学看護学部看護学准教授<22章10節>
- 南里 純代 大阪市立総合医療センター医療安全管理部主査 感染管理認定看護師<25章>

目次

血液

第1部 血液・造血器疾患を学ぶための基礎知識

第1章●血液の組成と機能

第2章●血液・造血器の異常でみられる症候と看護
血液疾患の概要と徴候／貧血／発熱／リンパ節腫脹、脾腫／易感染性／出血傾向／骨痛

第3章●血液・造血器の異常で行われる検査と看護
血液・造血器の異常で行われる主な検査／末梢血検査／骨髄検査／出血傾向の検査／リンパ節生検

第4章●血液・造血器疾患の治療・処置と看護
化学療法／造血器腫瘍の治療に対する支持療法／放射線療法／輸血／造血幹細胞移植／造血器腫瘍以外の血液疾患に対する治療

第2部 血液・造血器の疾患と看護

第5章●貧血
鉄欠乏性貧血／再生不良性貧血／溶血性貧血／自己免疫性溶血性貧血／巨赤芽球性貧血／赤芽球ろろ

第6章●出血傾向
特異性血小板減少性紫斑病／血友病／播種性血管内凝固／シェーンライン・ヘノッホ紫斑病 (IgA血管炎)／血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP)／血小板機能異常症／薬剤性血小板減少症／ビタミン欠乏症

第7章●血球異常
急性白血病 (急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病)／慢性骨髄性白血病 (CML)／骨髄異形成症候群 (MDS)／成人T細胞白血病／リンパ腫 (ATLL)／慢性リンパ性白血病 (CLL)／多発性骨髄腫 (MM)／無顆粒球症

授業計画案あり

動画 16本収録

1 血液の組成と機能

1.1 血液の組成

1.2 白血球の種類と機能

1.3 血小板の機能

1.4 血液凝固

1.5 血液検査 (白血球, IgE など)

1.6 血液検査 (白血球, IgE など) の詳細説明

1.7 血液検査 (白血球, IgE など) の結果の読み方

1.8 血液検査 (白血球, IgE など) の臨床応用

1.9 血液検査 (白血球, IgE など) の注意点

1.10 血液検査 (白血球, IgE など) のまとめ

魅せる解剖図解で 感覚的にわかる!

第8章●リンパ腫
悪性リンパ腫 (ホジキンリンパ腫, 非ホジキンリンパ腫)

第3部 事例で学ぶ血液・造血器疾患患者の看護

第9章●悪性リンパ腫患者の薬物療法と社会復帰までの看護
入院から退院まで／退院から日常生活の再開, 再入院まで／事例を振り返って

アレルギー・膠原病

第4部 免疫機能障害を学ぶための基礎知識

第10章●免疫に関わる細胞・器官とそれらの機能

第11章●免疫機能の異常でみられる症候と看護
免疫とは／アレルギーに関連した症候／膠原病に関連した症候／免疫不全に関連した症候

第12章●免疫機能の異常で行われる検査と看護
免疫機能の異常で行われる主な検査／アレルギーに関連した検査／膠原病に関連した検査

第13章●免疫機能の異常の治療・処置と看護
アレルギーに関連した治療・処置／膠原病に関連した治療・処置

第5部 アレルギー、自己免疫疾患 (膠原病) と看護

第14章●アレルギー
免疫とアレルギー・自己免疫疾患・免疫不全／花粉症 (アレルギー性鼻炎)／アトピー性皮膚炎／食物アレルギー／薬物アレルギー／接触皮膚炎／蕁麻疹／アナフィラキシー (アナフィラキシーショック)

第15章●自己免疫疾患 (膠原病)
全身性疾患 (多発性筋炎・皮膚筋炎・強皮症)／関節リウマチ／成人スチル病／全身性エリテマトーデス／抗リン脂質抗体症候群／シェーグレン症候群／血管炎症候群／パーチエット病

第6部 事例で学ぶ免疫機能障害患者の看護

第16章●SLEで薬物療法を受ける患者の看護

第17章●食物アレルギーからアナフィラキシーショックを起こした患者の看護

感染症

第7部 感染症を学ぶための基礎知識

第18章●感染症でみられる症候と看護
感染症の定義と炎症の4徴候／発熱・倦怠感／各臓器の特徴的な症候／敗血症性ショック

第19章●感染症で行われる検査と看護
感染症で行われる主な検査／画像検査／病原体検出法／血清学的診断法／形態学的診断法／薬剤感受性試験／検体試料の採取と保管

第20章●感染症で行われる治療・処置と看護
化学療法／血清療法／予防接種 (ワクチン)／外科的療法／全身管理

第8部 感染症と看護

第21章●ウイルス感染症・プリオン病
インフルエンザ／麻疹／水痘／帯状疱疹／流行性耳下腺炎／ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症, AIDS／単純ヘルペスウイルス (HSV) 感染症／サイトメガロウイルス (CMV) 感染症／ノロウイルス感染症／プリオン病

第22章●細菌感染症
黄色ブドウ球菌感染症／劇症型A群β溶連菌感染症／病原性大腸菌感染症／結核／百日咳／ジフテリア／ボツリヌス菌感染症／破傷風／梅毒／性器クラミジア感染症／髄膜炎菌感染症

第23章●真菌感染症・寄生虫・原虫感染症
アスペルギルス症／カンジダ症／クリプトコッカス症／ムーコル症 (接合菌症)／マラリア／クリプトスポリジウム症／住血吸虫症／エキソコッカス症 (包虫症)／アメーバ赤痢／トキソプラズマ症

第9部 事例で学ぶ感染症患者の看護

第24章●性感染症で治療を受ける患者の看護

第25章●ノロウイルス感染症を発症した患者の看護

脳・神経

電子版あり

●B5判 360頁 カラー 定価2,970円(本体2,700円+税10%) ISBN978-4-8404-6901-2 第1版 2020年1月

本書の内容

- 脳・神経領域の症候や検査、治療、疾患について、写真やイラストを多数掲載し、解説しています。
- 脳血管障害、脳腫瘍、感染性疾患、認知症など、脳神経外科・脳神経内科の疾患について網羅的に取り上げています。
- 看護の事例では、脳梗塞、くも膜下出血、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症(ALS)について取り上げています。脳神経外科・脳神経内科の疾患について、また急性期・慢性期について、広く学べます。

編集	
永廣 信治 吉野川病院長	田村 綾子 四国大学看護学部看護学科教授
高木 康志 徳島大学大学院医歯薬学研究所脳神経外科学分野教授	
執筆(掲載順)	
山本 伸昭 徳島大学大学院医歯薬学研究所臨床神経科学分野特任講師 <2章1・2・6節, 12章4節>	溝淵 佳史 高知赤十字病院脳神経外科<6章1・5・6・8・9節, 7章5~7節>
神島 滋子 令和健康科学大学看護学部教授<2章1・7節>	武田 保江 目白大学看護学部看護学科長<6章1~11節>
日高 艶子 聖マリア学院大学看護学部長・教授<2章2・3節>	藤原 敏孝 徳島大学大学院医歯薬学研究所脳神経外科学分野助教 <6章10・11節>
山本 雄貴 徳島大学病院脳神経内科特任助教<2章3・7節, 9章1節>	岩瀬 司 徳島大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センター慢性疾患看護専門看護師/脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 <7章1~7節>
宮本 亮介 徳島大学病院脳神経内科特任講師<2章4節>	
吉本 佳祐 長崎大学病院看護部<2章4・7節, 4章8節>	牟礼 英生 社会医療法人全仁会倉敷平成病院ニューロモデュレーションセンターセンター長<8章1節, 10章6~8節>
野崎 夏江 徳島大学病院SCU・脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 <2章4節, 14章1・2節, 15章1~3節>	森本 香 医療法人防治会いずみの病院急性期病棟棟長・脳卒中リハビリテーション看護認定看護師<8章1節>
谷口浩一郎 徳島大学病院脳神経内科医長<2章4節, 3章7節>	富澤 栄子 国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科教授 <9章1~6節, 10章1~8節>
林 真由美 近畿大学病院看護部SCU病棟主任・脳卒中リハビリテーション看護認定看護師<2章4節, 16章1節>	佐藤 健太 徳島県立中央病院脳神経内科副部長<9章2・6節>
山崎 博輝 徳島大学病院脳神経内科特任助教<2章5節, 3章5節>	岡崎 敏之 新百合ヶ丘総合病院脊椎髄末梢神経外科<10章1~5節>
米田 好美 四国大学看護学部看護学科助教<2章5・6節, 13章1・2節>	佐光 亘 順天堂大学医学部神経学講座准教授<11章1~6節>
藤田 浩司 徳島大学大学院医歯薬学研究所臨床神経科学分野講師 <3章1~4節, 9章3~5節, 12章1・2節>	秋田 幸子 徳島大学病院西病棟5階(脳神経内科・循環器内科・眼科・皮膚科)副看護師長・慢性疾患看護専門看護師<11章1~6節>
百田 武司 日本赤十字広島看護大学看護学部老年看護学領域教授 <3章2~9節, 4章5~7節>	南川 貴子 徳島文理大学保健福祉学部看護学科教授<12章1~5節>
高松 直子 徳島大学病院脳神経内科非常勤講師<3章5節>	沖 良祐 特定医療法人久会因南病院脳神経内科部長<12章3節>
高麗 雅章 徳島大学大学院医歯薬学研究所脳神経外科学分野助教 <3章6節, 4章8節>	和泉 唯信 徳島大学大学院医歯薬学研究所臨床神経科学分野教授 <12章5節>
大崎 裕亮 徳島大学大学院医歯薬学研究所臨床神経科学分野助教 <3章8・9節>	野寺 裕之 天理よろづ相談所病院神経筋疾患センター長・脳神経内科副部長 <13章1・2節>
庄野 健児 高松市立みんなの病院脳神経外科医長<4章1節>	松井 尚子 徳島大学大学院医歯薬学研究所臨床神経科学分野准教授 <14章1・2節, 15章2節>
亘 雄也 徳島県立中央病院脳神経外科医長<4章2・3節>	
内田 都 人間総合科学大学保健医療学部看護学科教授<4章2~4節>	山本 遥平 香川県済生会病院脳神経内科<15章1・3節>
田村 哲也 徳島県立中央病院脳神経外科部長<4章4節>	三ツ井貴夫 徳島大学病院脳神経内科臨床研究部長<15章3節>
中島 公平 徳島大学病院脳神経外科助教<4章5・6節, 6章2~4・7節>	多田 恵暁 徳島大学病院脳神経外科・てんかんセンター特任講師 <16章1節>
鹿草 宏 徳島大学病院徳島県地域医療センター特任助教 <4章7節, 7章1~4節>	小林 秋恵 香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科准教授<17章>
島田 健司 徳島大学病院地域脳神経外科診療部特任講師<5章1節>	田村 綾子 四国大学学際融合研究所看護学研究部門教授<18章>
横井 靖子 名古屋市立大学大学院看護学研究科講師<5章1~5節>	栗本佐知子 四国大学看護学部看護学科講師<19章>
兼松 康久 徳島大学大学院医歯薬学研究所脳神経外科学分野准教授 <5章2・3節>	原田 路可 徳島大学病院看護部副看護部長・脳卒中リハビリテーション看護認定看護師<20章>
石原 学 徳島大学病院救急集中治療部助教<5章4・5節>	

目次

第1部 脳・神経疾患を学ぶための基礎知識

第1章 脳・神経の構造と機能

大脳の構造と機能/間脳・脳幹・小脳の構造と機能/脊髄の構造と機能/脳神経・脊髄神経の構造と機能/髄膜・脳室の循環の構造と機能/脳の血管の構造と機能

第2章 脳・神経の異常でみられる症候と看護

意識障害/高次脳機能障害/脳神経機能障害/運動機能障害/感覚異常/頭痛/頭蓋内圧亢進症状

授業計画案あり

動画 16本収録



イラストで看護実践をイメージ



図2-11 車椅子からベッドへの移乗の介助

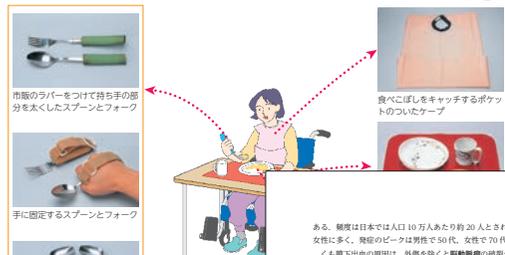


図2-12 食べやすくする工夫

は麻痺側の下肢が振られ、肩関節が脱臼する危険性を用いて上下下垂を予防する必要がある。

食事をとることで、エネルギーを補給し生体力とバランスのとれた食事を摂取しなければ、加齢による力が低下し、筋力が減少することでADLの低下が...

ある。脳卒中は日本では人口10万人あたり約20人とされ、男女比は1:2で女性に多く、発症のピークは男性で50代、女性で70代である。くも膜下出血の原因は、外傷を除くと脳動脈瘤の破裂が最も多くを占める。そのほか、脳動脈奇形、もやもや病、出血性原因などがくも膜下出血の原因となる。

脳動脈瘤とは、脳動脈の血管壁(特に脳血管が分枝する部位)が腫れ膨らんだもの。動脈瘤の一部(中間)に血液・血球などの固形成分がたまりやすくなることにより、徐々に膨らんで形成されると考えられている。腫れ膨らんだ血管壁は薄く、脆いため、突然破裂することがある。これが脳動脈瘤の破裂で、動脈性の出血がくも膜下出血に流入し、くも膜下出血となる(図5-13)。これ以外の原因に、脳動脈の腫瘍が破裂し、その間隙に血液が流入するために生じる解離性動脈瘤、細菌性感染や外傷などもある。

脳動脈瘤の好発部位は、主動脈の、特に Willis 動脈瘤を形成している動脈の分枝部である。くも膜下出血の原因は、前交通動脈が約30%、内頸動脈-後交通動脈分枝動脈が約30%、中大脳動脈が約20%、後交通動脈が約10%とされる(図5-14)。



図5-12 脳動脈瘤の破裂

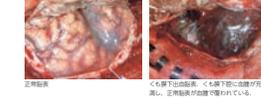


図5-13 くも膜下出血

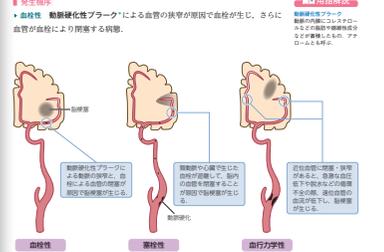


図5-1 脳梗塞の発生機序

写真や図解で症候の理解が深まる

第3章 脳・神経疾患の検査と看護
脳・神経疾患の検査の役割/CT(コンピュータ断層撮影)/MRI(磁気共鳴画像)/SPECT, PET/超音波検査/脳血管造影/脳波検査/髄液検査/電気生理学的検査

第4章 脳・神経疾患の主な治療と看護
脳・神経疾患の主な治療・処置/開頭術/穿頭術・ドレーナージ術/血管内治療/放射線治療/薬物療法/リハビリテーション/脳卒中ケアユニット(SCU)

第2部 脳・神経の疾患と看護

第5章 脳血管障害
脳梗塞/脳出血/くも膜下出血/脳動脈瘤奇形/もやもや病

第6章 脳腫瘍
神経膠腫/髄芽腫/胚細胞腫瘍/血管芽腫/髄膜腫/下垂体腺腫/悪性リンパ腫/神経鞘腫/頭蓋咽頭腫/転移性脳腫瘍/その他の脳腫瘍

第7章 頭部外傷
頭蓋骨折/急性硬膜外血腫/急性硬膜下血腫/慢性硬膜下血腫/脳挫傷/びまん性軸索損傷/スポーツ頭部外傷

第8章 水頭症
水頭症

第9章 感染性疾患
髄膜炎/単純ヘルペス脳炎/進行性多巣性白質脳症/亜急性硬化性全脳炎/プリオン病/脳膿瘍

第10章 脊髄・脊髄疾患
変形性脊椎症/後縦靱帯骨化症/腰部脊柱管狭窄症/椎間板ヘルニア/脊髄損傷/脊

髄炎/脊髄腫瘍/その他の脊髄・脊髄疾患

第11章 神経変性疾患・不随意運動症
パーキンソン病/ジストニア/筋萎縮性側索硬化症/多系統萎縮症/ハンチントン病/脊髄小脳変性症

第12章 認知症
アルツハイマー型認知症/レビー小体型認知症/前頭側頭型認知症/血管性認知症/その他の認知症疾患

第13章 末梢神経疾患
末梢神経障害(ニューロパシー)/その他の神経疾患・神経症状

第14章 脱髄性疾患
多発性硬化症/視神経脊髄炎

第15章 筋疾患
重症筋無力症/筋ジストロフィー/その他の筋疾患

第16章 てんかん
てんかん

第3部 事例で学ぶ脳・神経疾患患者の看護
第17章 脳梗塞患者の看護

第18章 くも膜下出血患者の看護
第19章 パーキンソン病患者の看護
第20章 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の看護

ナースング・グラフィカ EX 疾患と看護 6

眼／耳鼻咽喉／歯・口腔／皮膚



電子版あり

B5判 488頁 カラー 定価4,180円(本体3,800円+税10%) ISBN978-4-8404-6902-9 第1版 2020年1月

本書の内容

- 眼／耳鼻咽喉／歯・口腔／皮膚の症候や検査、治療、疾患について写真やイラストを多数掲載し、わかりやすく解説しています。
●障害されるとQOLに大きな影響を及ぼす感覚器の病変を網羅的に取り上げ、それぞれの関連性も理解しながら学べます。
●各領域の代表的な疾患について、看護の事例を豊富に掲載しています。

編集

Table listing editors and their affiliations, including names like 永井 由巳, 中西 健史, etc.

執筆 (掲載順)

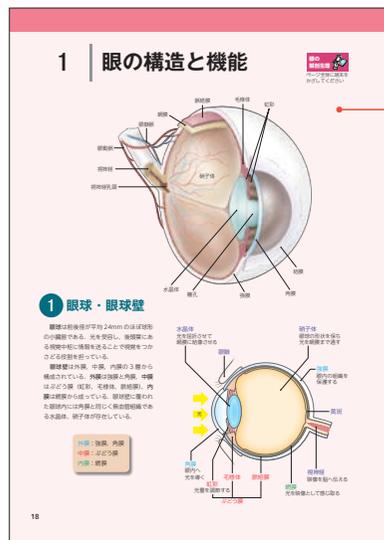
Table listing authors and their affiliations, organized by medical field: 眼, 耳鼻咽喉, 歯・口腔, 皮膚.

授業計画案あり

動画 14本収録



図解・写真で構造や症候が見て学べる



目次

Table of contents listing chapters from 1 to 48, covering topics like eye anatomy, ear/nose/throat disorders, dental/oral care, and skin conditions.

ナースング・グラフィカ EX 疾患と看護 7

運動器



電子版あり

B5判 336頁 カラー 定価2,750円 (本体2,500円+税10%) ISBN978-4-8404-6903-6 第1版 2020年1月

本書の内容

- 運動器を構成する骨、関節、筋肉、神経、靭帯、腱などについて、その構造と機能や病態の特徴が、美しいビジュアルの解剖、病態図解で視覚的に理解できます。
●体幹・四肢を含む全身の多岐にわたる運動器疾患とその看護の理解のため、疾患ごとに医学的な知識と看護を明確に分けて解説。
●2部の各疾患の章末では「臨床場面のつながり」を設けることによって、患者さんの病態や診断のアセスメント、看護のアセスメントや関わり方を学ぶことができます。

編集

萩野 浩 山陰労災病院院長 山本 恵子 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科教授

執筆(掲載順)

Table listing authors and their affiliations for each chapter. Includes names like 山本 恵子, 久木原博子, 谷島 伸二, etc.

目次

第1部 運動器を学ぶための基礎知識

第1章 運動器の構造と機能

骨の構造と機能 / 関節の構造と機能 / 筋内の構造と機能 / 末梢神経の構造と機能 / 脊椎の構造と機能 / 身体の方角 / 位置 / 断面 / 動き

第2章 運動器の異常でみられる症候

疼痛 / 腫脹 / 変形 / しびれ / 麻痺 / 異常歩行 / 可動域制限 / 筋力低下 / 筋萎縮

第3章 整形外科で行われる検査と看護

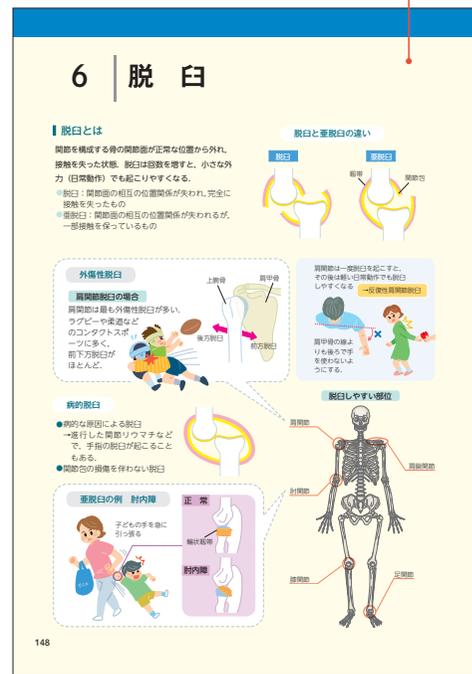
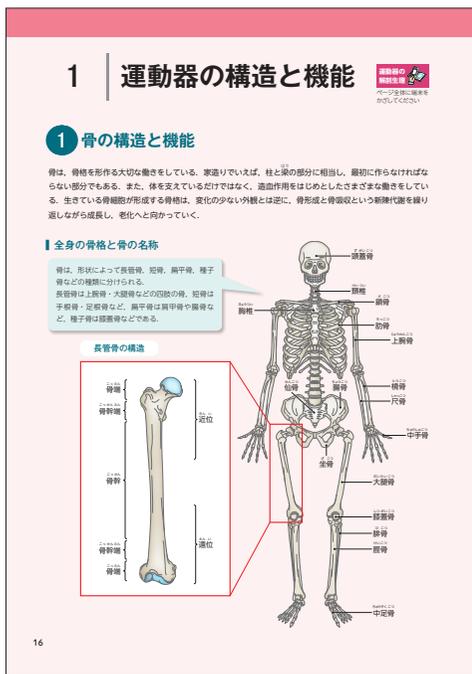
整形外科で行われる主な検査 / 計測 / 徴候 / テスト / 神経学的検査 / 単純X線検査 / CT検査 / MRI検査 / 造影検査 / 核医学検査 / 超音波検査 / 関節鏡検査 / 筋電図検査 / 神経伝導検査 / 骨密度検査 / 血液 / 尿生化学検査 / 関節液検査 / 髄液検査 / 生検術

第4章 運動器疾患の主な治療・処置と看護

安静 / 薬物療法 / 装具療法 / 矯正法 / 整復法 / 牽引法 / 固定法 / 手術療法 / リハビリテーション



「病態図解」ページで各疾患の病態が見てわかる



第2部 運動器の疾患と看護

第5章 骨折

鎖骨骨折 / 肋骨骨折 / 上腕骨骨折 / 橈骨遠位端骨折 / 骨盤骨折 / 大腿骨近位部骨折 / 膝蓋骨骨折 / 脛骨骨幹部骨折 / 足関節骨折 / 踵骨骨折 / 脊椎骨折

第6章 脱臼

肩関節脱臼 / 肩鎖関節脱臼 / 肘内障 / 肘関節脱臼

第7章 靭帯損傷

膝関節損傷 / 足関節靭帯損傷

第8章 その他の外傷

脊髄損傷 / 四肢 / 手指切断 / 肩胛板断裂

第9章 骨粗鬆症

骨粗鬆症

第10章 関節炎・腱鞘炎

関節炎 / 関節リウマチ / 腱鞘炎 / 肩関節周囲炎

第11章 変形性関節症

変形性股関節症 / 変形性膝関節症

第12章 大腿骨頭壊死症

大腿骨頭壊死症

第13章 脊椎変性疾患

椎間板ヘルニア / 頸椎症性神経根症 / 頸椎症性脊髄症 / 後縦靭帯骨化症 / 腰部脊柱管狭窄症 / すべり症 / 変形性脊椎症 / 脊柱側弯症

第14章 骨・軟部腫瘍

骨肉腫 / ユーイング肉腫 / 転移性骨腫瘍 / 軟部腫瘍

第15章 コンパートメント症候群

コンパートメント症候群

第16章 筋疾患

筋ジストロフィー / 重症筋無力症

第17章 末梢神経麻痺

横脊神経麻痺 / 総腓骨神経麻痺 / 絞扼性神経障害 (絞扼性ニューロパシー)

第18章 その他の疾患

ロコモティブシンドローム (運動器症候群) / サルコペニア (筋肉減少症) / 廃用症候群 (生活不活発病) / フレイイル

第3部 事例で学ぶ運動器疾患患者の看護

第19章 バイク事故で脊髄損傷、四肢麻痺となった患者の看護

第20章 大腿骨転子部骨折の認知症患者の急性期悪悪～地域連携までの看護

腎／泌尿器／ 内分泌・代謝



電子版あり

●B5判 496頁 カラー 定価4,290円(本体3,900円+税10%) ISBN978-4-8404-6904-3 第1版 2020年1月

本書の内容

- 「腎」「泌尿器」「内分泌・代謝」の3領域に分けた構成にすることで、診療科に合わせた学習ができるので、実習時は特に利用しやすく、講師にとっても使いやすいテキストになっています。
- 「内分泌・代謝」では、患者数の多い糖尿病について、重点的に解説しています。
- 3領域が一冊にまとまった構成を生かし、体液やホルモンなど他章と関連する部分はすぐ参照できるように配慮しました。

編集

繪本 正憲	大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学教授	西山 博之	筑波大学医学医療系臨床医学域腎泌尿器外科学教授
習田 明裕	東京都立大学人間健康科学研究科教授	田中 純子	山梨大学大学院総合研究部医学域看護学系／大学院排泄看護学非常勤講師

執筆(掲載順)

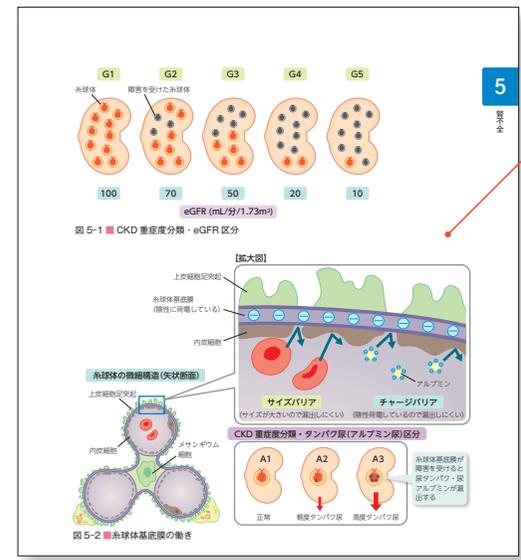
赤井 靖宏	奈良県立医科大学地域医療学講座教授<2章>	湯村 寧	横浜市立大学附属市民総合医療センター生殖医療センター泌尿器科診療教授<21章>
津田 昌宏	大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学講師<3章>	宮澤 克人	金沢医科大学学長・泌尿器科学主任教授<22章>
神谷 千鶴	関西看護医療大学看護学部教授<3章, 5~10章>	小阪 佳恵	兵庫医科大学医学部糖尿病内分泌・免疫内科学講座非常勤講師<25章>
森 克仁	大阪公立大学大学院医学研究科腎臓病態内科学准教授<4章1節, 5章, 8章>	小山 英則	兵庫医科大学医学部糖尿病内分泌・免疫内科学講座教授<25章>
辻本 吉広	社会医療法人愛仁会井上病院院長<4章2節>	庄司 拓仁	兵庫医科大学医学部医学教育センター(兼)糖尿病内分泌・免疫内科学講座講師<26章1~4節>
小坂 志保	東邦大学看護学部看護学科基礎看護学研究室准教授<4章2節, 11章>	細井 雅之	地方独立行政法人大阪市民病院長大阪市民総合医療センター糖尿病・内分泌内科部長<26章5~8節>
井上 高光	国際医療福祉大学成田病院腎泌尿器外科教授<4章3節>	石本香好子	医療法人豊田会刈谷豊田総合病院看護部副部長・糖尿病看護認定看護師・認定看護管理者<26章9節, 32章3・5節, 33章>
萩原 邦子	滋慶医療科学大学大学院医療管理理学研究科准教授<4章3節, 12章>	藏城 雅文	大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学講師<27章>
仲谷 慎也	大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学講師<6章, 10章>	関 浩美	信州大学医学部附属病院南6階病棟看護師長<27章, 31章>
小西 啓夫	地方独立行政法人大阪市民病院長大阪市民総合医療センター腎臓・高血圧内科部長<7章, 9章>	永田 友貴	大阪公立大学大学院医学研究科血管病態制御学講師<28章1~3節>
木村 友和	名古屋大学医学部附属病院泌尿器科病院講師<14章>	角谷 学	兵庫医科大学医学部糖尿病内分泌・免疫内科学講座講師<28章4~6節>
大澤 崇宏	北海道大学院泌尿器科講師<15章>	八木 順子	医療法人神甲会隈病院外来看護科<28章, 35章>
藤川 暢子	原三信病院看護部教育担当・手術室科長<15章, 16章2~4・7節>	今西 康雄	大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学准教授<29章, 31章>
根来 宏光	筑波大学医学医療系臨床医学域腎泌尿器外科学准教授<16章>	新田 早苗	医療法人神甲会隈病院看護部看護部部長<29章>
穴井 祐介	原三信病院看護部東館4階病棟手術看護認定看護師<16章5・6節>	山田 真介	大阪公立大学大学院医学研究科膠原病内科学准教授<30章>
伊藤喜世子	元 信州大学医学部附属病院東5階病棟看護師長<16章8節, 27章, 31章>	繪本 正憲	大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学教授<32章1~3節>
松本 早苗	信州大学医学部附属病院看護部副看護部長<16章8節>	森岡 与明	大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学准教授<32章4節>
宮崎 淳	国際医療福祉大学医学部腎泌尿器外科代表教授<17章>	片岡 千明	兵庫県立大学看護学部看護学科学講師・慢性疾患看護専門看護師<32章4節, 36章>
小野澤瑞樹	国際医療福祉大学市川病院腎泌尿器外科病院教授<17章>	越智 章展	大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学講師<32章5節1~4項>
永坂 和子	岐阜保健大学看護学部看護学科学科成人看護教授<17章, 21章, 22章, 30章>	元山 宏華	地方独立行政法人大阪市民病院長大阪市民総合医療センター糖尿病・内分泌内科副部長<32章5節5~10項>
関戸 哲利	東邦大学医療センター大橋病院泌尿器科教授<18章>	庄司 哲雄	大阪公立大学大学院医学研究科血管病態制御学研究教授<33章>
西村かおる	コンチネンズジャパン株式会社専務取締役<18章>	濱元 淳子	静岡医療科学専門学校看護学科学長<34章>
河合 弘二	国際医療福祉大学成田病院腎泌尿器外科教授<19章>		
谷口 珠実	山梨大学大学院総合研究部医学域看護学系教授<19章, 23章>		
兼松 明弘	兵庫医科大学泌尿器科臨床教授<20章>		
大植 孝治	兵庫医科大学医学部小児外科教授<20章>		
鎌田 直子	兵庫県立こども病院看護部皮膚・排泄ケア認定看護師<20章>		

協力

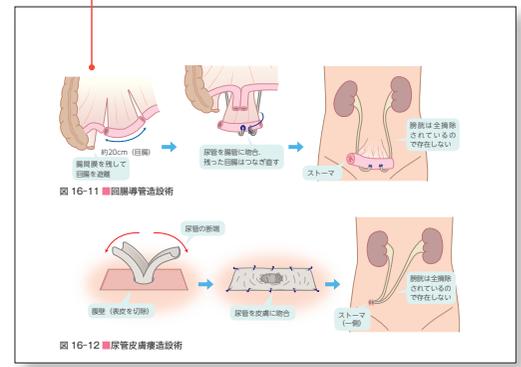
和田めぐみ 社会医療法人社団順江会江東病院透析看護認定看護師<4章2節>

授業計画案あり

動画 16本収録



豊富な図解で理解が深まる



目次

腎臓	第19章 ● 尿路・男性生殖器的腫瘍性疾患 腎細胞癌(腎癌)／腎盂癌・尿管癌／膀胱癌／前立腺癌／精巣腫瘍
第1部 腎疾患を学ぶための基礎知識	第20章 ● 泌尿器の先天異常・小児泌尿器疾患 膀胱尿管逆流／尿道下裂／停留精巣／夜尿症／小児泌尿器科腫瘍性疾患
第1章 ● 腎臓の構造と機能	第21章 ● 男性生殖器疾患 男性不妊症／男性性機能障害／加齢男性性腺機能低下症候群(LOH症候群)／精索静脈瘤／精索捻転症／陰嚢水腫
第2章 ● 腎臓の異常でみられる症候	第22章 ● その他の尿路疾患 尿路結石／尿路損傷
第3章 ● 腎臓内科で行われる検査と看護	第6部 事例で学ぶ泌尿器疾患患者の看護
第4章 ● 腎疾患の主な治療・処置と看護	第23章 ● 前立腺癌患者の看護
第5章 ● 腎不全	内分泌・代謝
第6章 ● 原発性糸球体疾患	第7部 内分泌・代謝疾患を学ぶための基礎知識
第7章 ● 高血圧および腎血管障害	第24章 ● 内分泌・代謝器官の構造と機能 内分泌のしくみと主なホルモン／主なホルモンの分泌と作用／糖質・脂質・タンパク質の代謝／グルコースの流れとインスリンによる血糖調節
第8章 ● 尿管管・間質性疾患	第25章 ● 内分泌器官の異常でみられる症候 内分泌疾患でみられる主な症候
第9章 ● 全身性疾患に伴う腎障害	第26章 ● 内分泌・代謝内科で行われる検査と看護 内分泌・代謝内科で行われる主な検査／ホルモン血中濃度・ホルモン尿中定量測定／内分泌機能検査／内分泌器官の画像検査／糖負荷試験／1型糖尿病に関連する検査／血糖コントロール評価の検査／インスリン分泌能・抵抗性評価の検査／内分泌・代謝内科の検査を受ける患者の看護
第10章 ● 囊胞性腎疾患	第8部 内分泌・代謝疾患と看護
第3部 事例で学ぶ腎疾患患者の看護	第27章 ● 視床下部・下垂体疾患 クッシング病(ACTH産生下垂体腫瘍)／先端巨大症／プロラクチノーマ(プロラクチン産生下垂体腫瘍)／下垂体前葉機能低下症／成長ホルモン分泌不全性低身長症／尿崩症／抗利尿ホルモン不適切分泌症候群(SIADH)
第11章 ● 慢性腎臓病(CKD)で透析療法を始める患者の看護	第28章 ● 甲状腺疾患 ハセドウ病／亜急性甲状腺炎／甲状腺ローゼ／甲状腺機能低下症／橋本病(慢性甲状腺炎)／甲状腺腫瘍
第12章 ● 生体腎移植を受ける患者の看護	第29章 ● 副甲状腺疾患 副甲状腺機能亢進症／副甲状腺機能低下症
泌尿器	第30章 ● 副腎皮質・髄質疾患 原発性アルドステロン症／クッシング症候群／副腎皮質機能低下症／褐色細胞腫／副腎偶発腫瘍
第4部 泌尿器疾患を学ぶための基礎知識	第31章 ● その他の内分泌疾患 性腺疾患／神経内分泌腫瘍
第13章 ● 泌尿器の構造と機能	第32章 ● 糖代謝異常(糖尿病) 糖尿病とは／糖尿病の診断・原因・分類／糖尿病の治療に必要な検査／糖尿病の治療／糖尿病合併症
第14章 ● 泌尿器の異常でみられる症候	第33章 ● その他の代謝・栄養疾患 肥満症・メタボリックシンドローム／脂質異常症／尿酸値異常・痛風／骨粗鬆症／ビタミン欠乏症・過剰症
第15章 ● 泌尿器科で行われる検査と看護	第34章 ● 体温調節機能障害 高体温／高温による障害(熱中症)／寒冷による障害(低体温症)
第16章 ● 泌尿器疾患の主な治療・処置と看護	第9部 事例で学ぶ内分泌・代謝疾患患者の看護
第17章 ● 尿路・男性生殖器的感染症	第35章 ● ハセドウ病患者の看護
第18章 ● 下部尿路機能障害【蓄尿・排尿(尿排出)障害】	第36章 ● 糖尿病患者の看護

女性生殖器

電子版あり

B5判 352頁 カラー 定価2,860円 (本体2,600円+税10%) ISBN978-4-8404-6905-0 第1版 2020年1月



本書の内容

- 女性生殖器の疾患の基本的な知識と看護を学ぶテキストです。
- 女性のライフサイクルの変化に関連する疾患の予防など、女性の生涯の健康を守る視点を盛り込んでいます。
- 最新の知見も踏まえ、臨床現場がリアルに感じられます。

編集

菅原 稔 徳島大学名誉教授 渡邊 浩子 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授

執筆 (掲載順)

安井 敏之 徳島大学大学院医歯薬学研究所産・更年期医療学分野教授 <2章>	原田美由紀 東京大学大学院医学系研究科産婦人科学准教授 <5章>
松浦 幸恵 徳島大学大学院医歯薬学研究所産・更年期医療学分野助教 <2章>	茅島 江子 元 秀明大学看護学部長 <5章>
東 敬次郎 徳島文理大学保健福祉学部看護学専攻教授・助産学専攻科長 <3章1・2節>	金子 政時 宮崎大学大学院看護学専攻教授 <6章>
寺内 桃子 京都市民連中央病院副看護部長 <3章1・2節>	杉浦 絹子 西南学院大学助産科教授 <6章>
濱田 信一 四国中央病院健康管理センター健康管理科部長 <3章3節, 4章6節>	塩田 敦子 香川大学医学部医学科健康科学教授 <7章>
鎌田 正晴 徳島検診クリニック副院長, 四国中央病院名誉院長 <3章3節, 4章6節>	白石 三恵 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授 <7章1・2・6節, 14章>
松崎 政代 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究所看護学専攻教授 <3章3節, 9章1~3節>	草薙 康城 愛媛県立医療技術大学名誉教授, つばきウイメンズクリニック <8章>
金井 誠 信州大学医学部保健学教授 <3章4節, 4章1~5節>	渡邊 浩子 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授 <8章1・3節, 12章1節>
小原 久典 信州大学医学部附属病院産科婦人科講師 <3章4節, 4章1~5節>	小林 範子 北海道大学病院婦人科講師 <9章>
小笹 由香 東京医科歯科大学大学院保健衛生学専攻教授 <3章4節, 8章2節>	佐川 正 北海道大学名誉教授 <9章>
林 みずほ 大阪大学医学部附属病院長緩和医療センター看護師長 <4章1・5節>	辰巳有紀子 京都先端科学大学健康医療学部看護学講師 <9章4節>
師岡 友紀 武庫川女子大学看護学部・大学院看護学専攻教授 <4章2節, 7章3~5節, 15章>	中塚 幹也 岡山大学学術研究院保健学域教授 <10章, 13章>
荒尾 晴恵 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授 <4章3・4・6節, 9章4節>	藤井ひろみ 大手中学国際看護学部教授 <10章, 13章>
	沖 利通 鹿児島大学医学部保健学教育看護学講座教授 <11章>
	橋村 富子 元 豊橋創造大学保健医療学部看護学専攻教授 <11章>
	樋口 毅 弘前大学大学院保健学専攻看護学領域教授 <12章>
	高間木 静香 弘前大学大学院保健学専攻看護学領域助教 <12章>
	木内 佳織 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻助教 <12章2~4節, 17章>
	山本 瀬奈 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻准教授 <16章>

目次

第1部 女性生殖器疾患を学ぶための基礎知識

- 第1章 ●女性生殖器の構造と機能
 - 外生殖器/内生殖器/骨盤臓器の支持機構/乳房/性分化のメカニズム/性周期
- 第2章 ●女性生殖器の異常でみられる症状
 - 月経異常/帯下の異常/不正性器出血/下腹部痛/下腹部膨満感・腫痛感/外陰部症状/下部尿路症状/更年期症状/乳房の症状
- 第3章 ●婦人科・乳腺科で行われる診察・検査と看護
 - 婦人科の診察/婦人科の検査/乳房の診察・検査/ゲノム解析
- 第4章 ●婦人科・乳腺科で行われる主な治療・処置と看護
 - 婦人科の一般処置/婦人科の手術/婦人科の放射線療法/婦人科のがん薬物療法/婦人科のホルモン療法/乳房の治療

第2部 女性生殖器の疾患と看護

- 第5章 ●月経に関連する疾患
 - 早発思春期・遅発思春期/無月経/月経経閉症状
- 第6章 ●性器の炎症・性感染症
 - 外陰部・膣の炎症/骨盤内炎症性疾患 (PID)/性感染症 (STI)
- 第7章 ●子宮の疾患
 - 子宮内膜炎/子宮筋腫/子宮頸癌/子宮体癌 (子宮内腺癌)/絨毛性疾患

- 第8章 ●卵巣・卵管の疾患
 - 卵巣腫瘍/遺伝性乳癌卵巣癌 (HBOC)/異所性妊娠
- 第9章 ●乳房の疾患
 - 乳腺炎/乳腺腫瘍/線維腺腫/乳癌
- 第10章 ●性分化疾患・性器形態異常
 - 性分化疾患 (DSDs)/性器形態異常
- 第11章 ●不妊症・不育症
 - 不妊症/不育症/がん生殖医療
- 第12章 ●更年期・老年期の疾患
 - 更年期障害/老年期の疾患/尿失禁/骨盤臓器脱 (POP)
- 第13章 ●セクシュアリティに関連する健康課題
 - 性機能不全 (性機能不全群)/性同一性障害 (GID)/性暴力・性犯罪

第3部 事例で学ぶ女性生殖器疾患患者の看護

- 第14章 ●子宮内腺症患者の看護
- 第15章 ●子宮頸癌患者の看護
- 第16章 ●乳癌患者の看護
- 第17章 ●子宮脱で尿失禁を有する患者の看護

授業計画案あり

動画 7本 収録

予後良好にする(表9-7)、非発症の0期やPaget病であれば、生存率はほぼ100%である。手術後10年以内に患者全体の約3割に再発がみられる。多くは2-3年程度でみられるが進行が遅い場合は、5年や10年、まれに20年後に再発・転移がみられる場合もある。

2 乳癌患者の看護

乳癌は40-60代の女性に好発し、この世代はエライソンの発達課題の「generativity (生産性)」すなわち次の世代の育成(育児や仕事の成果含む)の時期であり、乳癌患者の多くは家庭や社会での役割が大きい世代といえる。

乳癌患者は、他のがん患者と同様に乳癌と診断されるまでの偶然とした不安に始まり、がん告知のショック・苦痛、治療方針の選択、術前治療・手術・術後療法による変化や苦痛を味わう。それに加え、治療で停止・減速してしまった社会生活の喪失感、家族の負担感への不安や申し訳なさ、経済的な不安や苦痛、再発への不安が積み重なると、5年生存率が高く、長い経過をたどることの多い疾患である。そのため長期的にわたる支援が必要である。支援が必要な局面について主な4点について述べる。

1 意思決定の局面での支援

乳癌は多様なサブタイプをもち、患者ごとの個別化治療が基本であるが、選択肢も多い。近年、医療界ではパターナリズムからの脱却が進み、乳癌患者にも多くの場面で本人または家族の意思が問われる。乳房の切除方法(術式)、再建方法(時期、イメージ)や社会復帰を支援する。乳癌患者の意思決定を支援する。乳癌患者の意思決定を支援する。乳癌患者の意思決定を支援する。

1 月経の開始・閉止の異常

月経の開始時期の異常には早発月経や遅発閉経、閉止の異常には早発閉経や遅発閉経がある。

早発月経は10歳未満で初経が来るとをい、その多くは無排卵性である。早発月経には真性早発月経と偽性早発月経があり、前者は卵巣機能が早期に促進されたものであり、後者は卵巣異常による前駆性エストロゲン分泌亢進によるものであり、そのために子宮出血が認められるものがある¹⁾。

40歳未満で卵巣機能低下となったものを早発閉経不全²⁾とい、高プロラクチン血症性無月経を呈する。この中には、40歳未満で閉経が経過し自然閉経を

表 9-7 乳癌の病期と生存率 (女性)

病期	5年実生存率*1 (%)	10年実生存率*2 (%)
I	97.8	90.2
II	93.2	81.4
III	78.1	55.9
IV	37.4	15
計	91.1	78.9

*1 2008-2010年初期乳癌症例
*2 2002-2005年乳癌症例
全邦がんセンター協議会、全がん協賛機関の生存率集計結果

表 2-1 月経異常の種類と定義

分類	種類	定義
開始時期	早発月経	初経発来が10歳未満
	遅発閉経	初経発来が15歳以上
閉止時期	早発閉経	閉経が40歳未満
	遅発閉経	閉経が55歳以上
毎月	原発性無月経	18歳で初経が来ても、その後閉経が来ない
	続発性無月経	初経発来後に閉経が3カ月以上停止
月経周期	過発月経	月経周期が39日以上3カ月以内
	過短月経	月経周期が24日以内
月経量	過少月経	月経出血量が20mL以下
	過多月経	月経出血量が40mL以上
持続期間	過短月経	月経持続期間が2日以下
	過長月経	月経持続期間が9日以上
閉経前症状	月経前症候群	月経前3-10日前に起こる精神的・身体的症状で、月経開始とともに軽減または消失する
	月経閉症候	月経閉経中に閉経に類似して起こる病的症状

7 子宮の異常

子宮頸癌の診断に最も有用な検査である。T2強調画像にて厚くなった子宮内に異所性内膜が散在性の点状高信号として認められる(図7-7)。

2 治療

閉経を遅くすれば症状は消失し、子宮も縮小するが、病変は残る。ごくまれに異所性内膜からの内臓癌が発生したとの報告がある。

薬物治療

対症療法として、造血薬(鉄剤)、止血薬(トラスネキサム酸)、非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)、漢方薬を使用する。貧血の治療が必要となること多い。エストロゲン依存性の疾患であるため、ホルモン治療では子宮内腺癌に準じた治療が行われる(表7-4)。

子宮動脈塞栓術 uterine arterial embolization: UAE

子宮動脈塞栓術(UAE)は、通常、右足付け根の大動脈からカテーテルを

図 7-6 子宮頸癌の超音波検査像

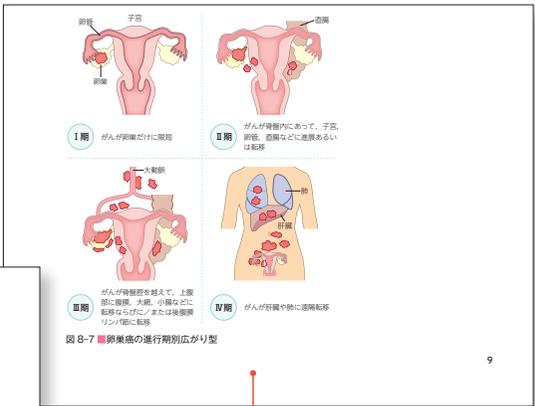
正常子宮頸管は、子宮頸管内に存在し、子宮頸管内に存在しない。子宮頸管内に存在しない。子宮頸管内に存在しない。

図 7-7 子宮頸癌と卵巣チョコレート嚢胞合併のMRI像 (T2強調)

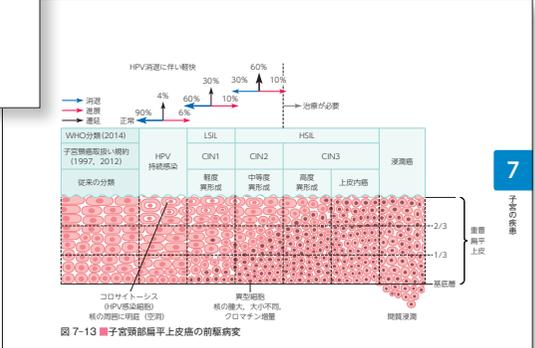
子宮頸管内に存在しない。子宮頸管内に存在しない。子宮頸管内に存在しない。

表 7-4 子宮頸癌のホルモンの治療

薬剤	特徴
GnRHアナログ (降卵療法)	症状は軽減し使用は疾患も軽くなるが、効果の持続期間は短く副作用がある。
レボノルゲストレル放出子宮内システム (LNG-IUS)	軽度な月経痛の軽減、経血の改善、疼痛の軽減が認められる。子宮頸癌が閉経に近い場合には、効果がある。
エストロゲン (第4世代プロゲステロン製剤)	軽度の子宮頸癌で治療効果が期待されている。過多月経、経血の多い子宮内腺癌に投与するより大きな子宮頸癌では、治療中に子宮頸癌の増悪がみられる。注意が必要である。
服用型エストロゲン・プロゲステロン配合薬 (LEP)	症状の軽減には役立つが有用性が示されていない。



写真やイラストで視覚的に理解!



びること、②CIN2とCIN3の診断は難しくHSILでは再発率が高いことによる。日本ではCIN3から治療対象としてきており、当分の間はLSILとCINを併記することになる。

LSIL/CIN1は、HPVに感染した状態で、軽度異形成に当たり、上皮の表面でコイサイトーシスと呼ばれる核の周囲が明るい空胞(halo)をもつ細胞がみられる。異型細胞は基底層1/3以内にとどまり異型も軽度である。約60%は消退。約30%は持続。約10%が進展する。

HSIL/CIN2は中等度異形成に当たり、上皮の基底層1/3を超え2/3までの範囲で異型が認められる。約30%が消退。約60%が持続し、約10%が進展する。

HSIL/CIN3は上皮の2/3を超えて異型が認められるが浸潤はないので、高度異形成。上皮内癌と呼ばれていた病変であり、治療の対象である。子宮頸癌の進展様式は、子宮頸部を超えて直接浸潤すると、縦方向では子宮体部へ、横方向には子宮傍組織から骨盤へ、前後では膀胱、直腸へと広がる。またリンパ行性に骨盤リンパ節から傍大動脈リンパ節(遠隔転移として扱われる)へ、血行性に肝臓、肺臓への遠隔転移がみられる。

■ 症状

子宮頸癌は、初期には全く症状がないのが特徴である。そのため検診が有効で、国の対癌型検診に組み込まれており、自治体から20歳以上の女性に対して2年ごとに子宮頸癌細胞診のクーポン、補助券を配布している。